

平成30年度 「小・中学校ジョイントスクール推進事業」 中沢中学校区 実践計画書

事務局 中沢中学校 (教頭 長者久保希史子)

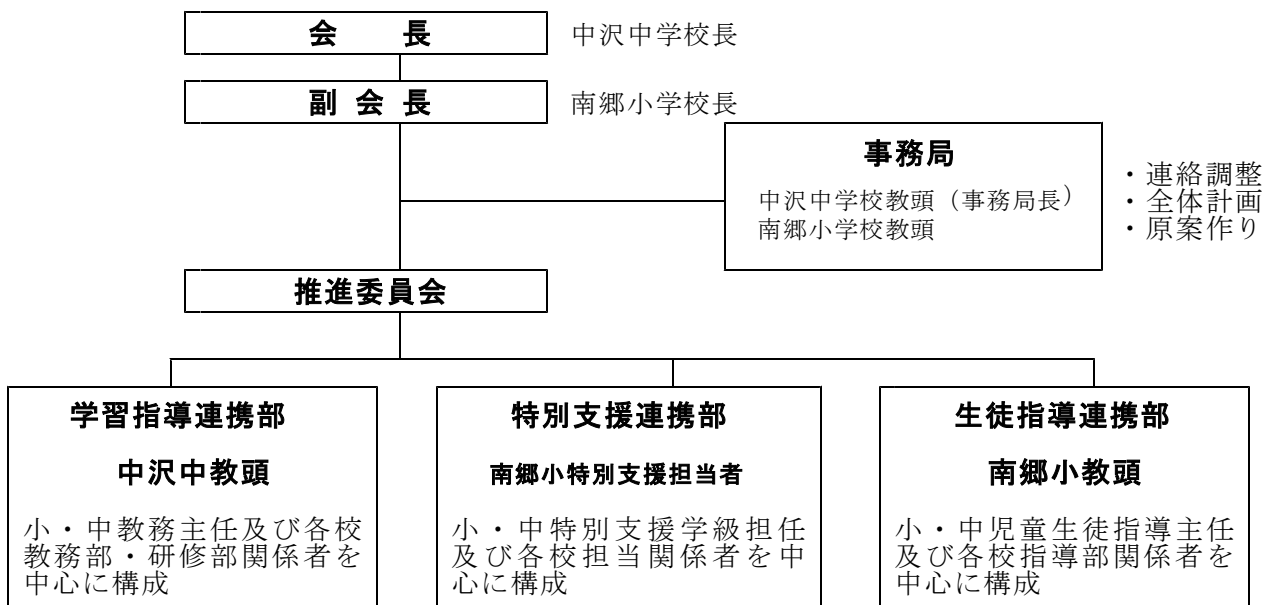
1 主題 (3年次)

『人間関係を構築するための小中連携のあり方について』
～学区を挙げてのさらなる取組推進をめざして～

2 主題設定の理由

中沢中学校区では平成28年度、3校の小学校が統合して南郷小学校となり、小中各1校区となった。これまではそれぞれの地域の文化や特徴を生かした地域と密着した学校運営が展開されてきたが、平成28年度の新しい小学校で新たな取り組みに中学校も協力しながら、学校と地域が一体となって一緒に児童・生徒の育成に取り組む土台作りを推進してきた。特に小学校では3地区の特色を生かしながら地域を巻き込んで一体となって活動する行事を設定したり、小学校の行事に中学生が参加したりして、児童・生徒間の交流を深める機会を設けてきた。しかし、それぞれの垣根を越えて児童・生徒及び保護者が一体感を感じて学習や諸活動に取り組むためには、まだ時間が必要である。そこで、小中ジョイントスクールでも昨年度と同様に、各地域の実態や特徴を踏まえながら、地域とともに9年間の学びの連続性を構築していきたい。人と人のよりよい人間関係をさらに構築し、様々な教育活動の場面で小中学校の枠や旧小学校区や各地域の枠を取り除いた活動の設定や活動内容を深める機会を設定する。そして、児童・生徒、保護者、地域住民、教職員も一層豊かな人間関係を構築できるように、本主題を継続することとした。

3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織



4 中学校区の重点指導項目

中沢中学校区 重点指導項目

- 気持ちのよい返事やあいさつができる。
(学期1回、時期を合わせてあいさつ運動を実施)
- 互いをよく理解したり思いをしっかりと伝えるために、話をしっかりと聞き取ったり、正しい言葉づかいではっきり話すことができる。
- 家庭学習習慣の確立・定着と充実を図ることができる。